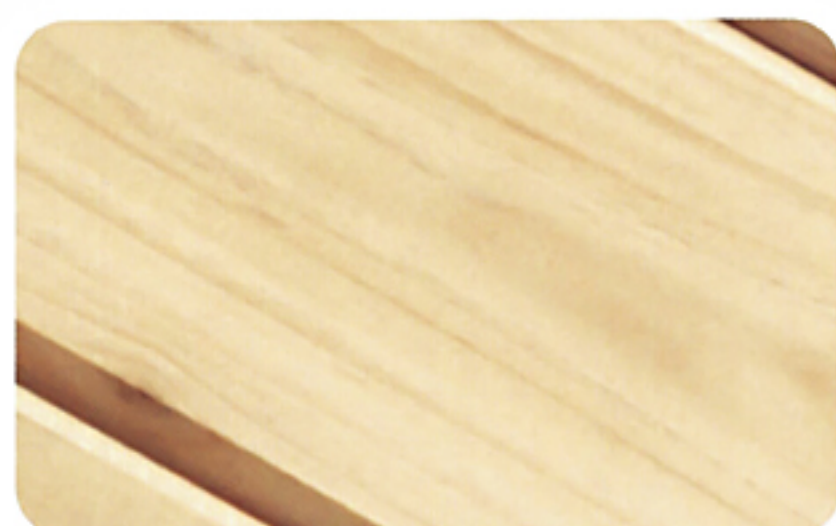


座 天然木(ひのき)

森林を健全に保つため、
一部の立木を伐りとった間伐材です



当社が採用しているひのきは、森林を健全に育てるため混みすぎた林の立木を一部伐りとった間伐材です。資源有効利用のため間伐をすることにより、林の中が明るく周りの草木が育つようになり、土壌も保全され、生態系のバランスが整うことで木が大きく育つようになります。

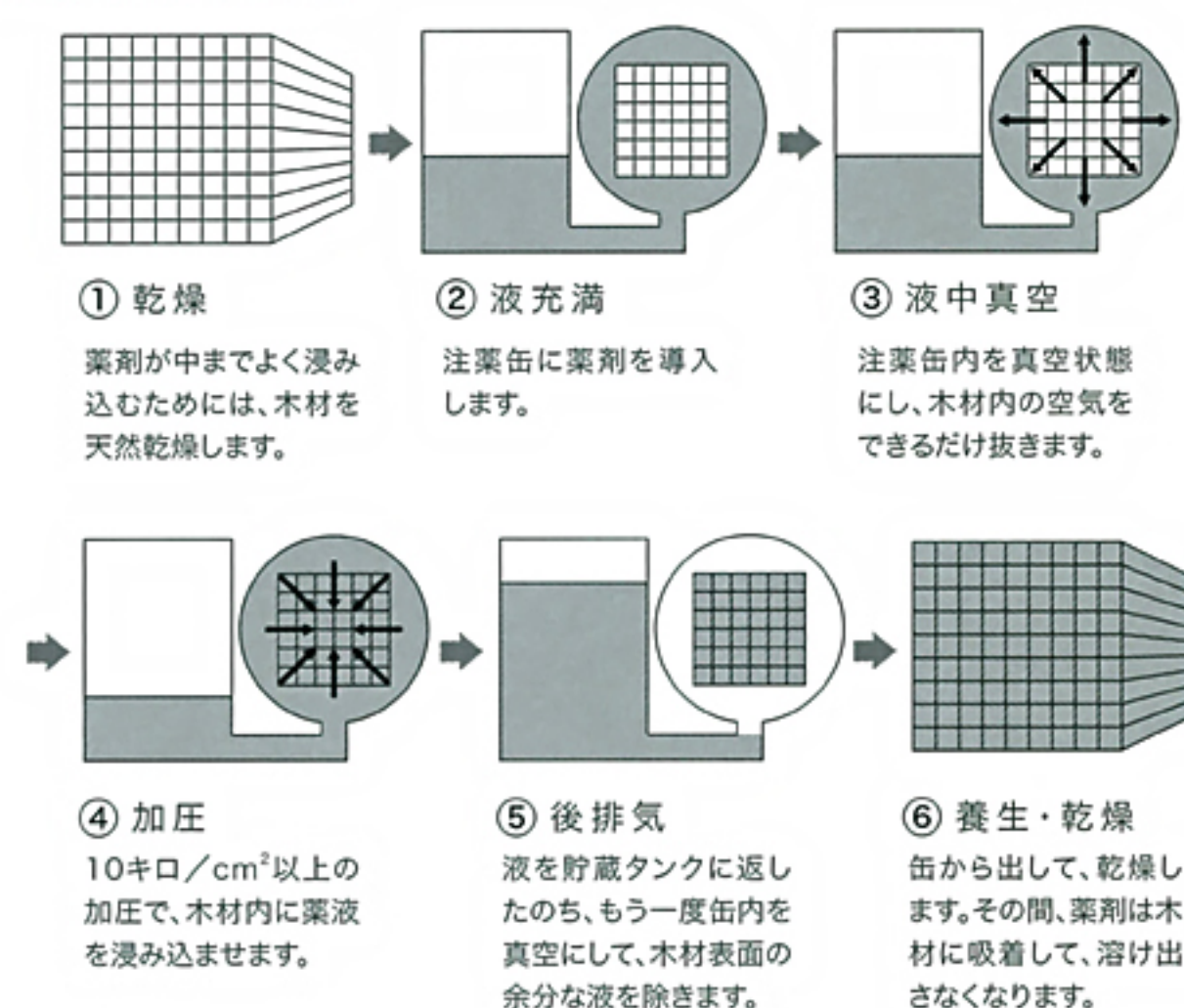
ひのき材の防腐防蟻処理について

安全性の高い無色の防腐・防蟻剤を加圧注入していますので、腐りにくく高い防虫効果があります。ひのき材には、ジデシルジメチルアンモニウムクロライド (DDAC) を主成分とした木材防腐・防蟻剤 (モクボー AAC) を使用した加圧注入処理をしています。DDACはヤシ油から製造したココナツアミンを原料として製造された天然成分で、カチオン系界面活性剤の一種です。カチオン系界面活性剤は逆性石鹼としてよく知られており、強力な殺菌力と安全性を兼ね備えた薬剤として、食品工場、病院、畜舎などの消毒・殺菌剤として、また家庭用品 (洗髪用リンスなど) などに広く使われています。モクボー AACは、JIS、JASに適合し、(社) 日本木材保存協会 (JWPA) の認定薬剤 (認証番号 A-5216) 及び (財) 日本住宅・木材技術センターの優良木質建材等認証 (AQ 認証) の対象薬剤となっています。

樹種呼称	ひのき
種類	国産材・針葉樹
材色(辺材)	淡黄白色
気乾比重	0.45
曲げ強さ(kg/cm ²)	750
圧縮強さ(kg/cm ²)	400
せん断強さ(kg/cm ²)	75
曲げヤング係数(10 ³ kgf/cm ²)	90
耐朽性	大
用途	建築・船舶

■上記は測定値であり、保証値ではありません。

◆加圧注入プロセス



<防腐性能>

JIS A 9201「木材防腐剤の性能基準及び試験方法」に規定する防腐効力に合格適合しています。

■モクボー AACの防腐試験成績(東京農業大学)

試験体	供試菌名	防腐剤吸収量(kg/m ³)	質量減少率(%)		
			平均	標準偏差	変動係数
処理試験体	オオウズラタケ	5.02	0.0	0.0	—
	カワラタケ	5.00	0.0	0.0	—
無処理試験体	オオウズラタケ	—	48.1	7.4	15
	カワラタケ	—	27.4	5.6	20

*質量減少率は3.0%以下で合格。

*防腐剤吸収量はモクボー AACの有効成分であるDDACの吸収量。

JIS A 9201は現在JIS K 1571に移行されています。

■上記は試験値であり、保証値ではありません。

<防蟻性能>

JWPA規格第12号(加圧用木材防蟻剤の防蟻効力試験方法)に準拠し、同規格第14号(木材防腐防蟻剤等の性能基準)に規定する防蟻効力に合格適合しています。

■モクボー AACの防蟻効力試験成績(東京農業大学)

種 別		死虫率(%)		質量減少率(%)	
		最小—最大	平均	最小—最大	平均
処理試験体	耐候操作あり	36—52	45	0.9—2.1	1.5
	耐候操作なし	39—53	44	0.0—1.1	0.8
無処理試験体		5—7	7	22.0—29.8	26.0

試験体の薬剤吸収量:耐候操作あり 4.88kg/m³(DDACとして) 耐候操作なし 5.07kg/m³

*質量減少率は3.0%以下で合格。

■上記は試験値であり、保証値ではありません。